

第6期 財団法人こしじ水と緑の会事業報告

(平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

はじめに

第6期は里山に関わる事業において、財団自らが財団を置く地元で立地する朝日城址の山地林を取得し、動植物の現況調査、歩道や広場の基本整備・維持活動に着手するなど具体的な進展をみた。

また、自然学校事業では自主開催体制にあらため、主会場を越路地域に求めて試行をおこなった。

なお、事務局も朝日酒造の新事務棟の完成に合わせ、事務局へ移転した。

1. 助成事業

助成事業として、「第5回朝日酒造・自然保護助成基金」として実施した。

全22件の申請を受付、15件に対して助成を決定した。なお、詳細は以下のとおり。

(1) 一般助成（公募を行い、選考委員会で決定）

- ・応募期間：平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 1 月 31 日
- ・選考：選考委員会にて選考の上、決定。
- ・交付：平成 18 年 4 月 1 日（土）に助成金交付式を開催。
- ・助成金総額：4, 141, 600 円

「第5回(財) こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」助成先一覧

申請受付順（敬称略）

No.	団体名	決定額	活動名
1	社会福祉法人 宝が丘保育園	300,000	昔棚田のあった所に65mの蛍を主としたビオトープ作り
2	千羽繁雄	250,000	弥彦山周辺の生物写真展（植物・昆虫）の開催と希少野生生物の基礎調査
3	加藤直人	240,000	マダラナニワトンボの保護
4	ブナの里創り実行委員会	300,000	豪雪地のブナ里山林の保全と育成
5	NPO 法人 新潟県山野草をたずねる会・植生研究会	250,000	森から学ぶ自然との共生—環境教育の実施研修—
6	帆苺信	300,000	阿賀野川水系における水質調査
7	馬場吉弘	272,500	糸魚川市内を流れる小河川に生息する水生生物調査
8	子どもたちのための古民家再生委員会	300,000	子どもたちのための古民家を拠点とする「自然学校」野鳥と里山の整備
9	NPO 法人ウッディ阿賀の会	215,000	里山整備事業（自然環境保全に関する実施活動）
10	めだかの学校	280,000	めだか池再整備と「めだか米」づくり
11	NPO 法人 ねっとわーく福島潟	300,000	福島潟の貴重植物の保全と復活
12	通船川・栗ノ木川ルネッサンス	300,000	川から学ぶ「子ども環境会議」
13	「セナミスミレ」を育む会	280,000	セナミスミレの保護増殖及び啓発活動
14	石川小百合	254,100	スキー場の表土と植生の調査
15	NPO 法人新潟水辺の会	300,000	全国一斉水環境調査の精度と、自然への理解を高めるためのマニュアルビデオ作成

2. 財団独自の事業

財団自らがその目的を達成するために、以下の3事業をおこなった。

(財) こしじ水と緑の会

(1) 朝日城址周辺山地林の取得及び活用に向けた調査・研究事業

財団を置く朝日地内にて山地林を選定し、地権者の協力を得ながら、財団にて山林地を買い求め取得した。取得した山地林にて、越路の里山の総合的な課題解決へつなげるための一助とすべく、調査・研究活動に着手すると共に、諸活動を支える歩道の確保をはかるため、旧道の簡単な整備を行なった。

①地権者3者に対して、財団の山地林取得への詳細説明会を開催。基本的な同意の確認を得る。

取得山地の地番 朝日字芝野及び権ヶ沢

取得面積 28,892 m² (約3ha)

- ・平成17年12月、財団より「山地・立木(スギ等)譲渡見積り計算書」を提示、譲渡の了解を得る。
- ・平成17年12月、地権者3者と「不動産及び林木売買契約書」を交わし、譲渡代金の支払いを行った。金額は以下の通りである。

土地売買代金 2,889,200 円 林木売買代金 5,820,885 円

総額 8,710,085 円

- ・土地の登記は平成17年12月内に完了した。
- ・取得山地林の名称

中心部に「朝日城址」があることから、「朝日城の森」と呼称することとした。

②有識者会議として第3期より継続してきた「越路の里山を考える会」のメンバーをもとに「朝日城の森の活用を考える会」と題して会議を催し、協議を行なった。

開催日：平成18年4月23日(日)午後1時より

会場：朝日城の森、割烹魚庄

内容：朝日城の森の巡検及び今後の活用に向けて協議を行なった。参加者11名。

(2)「水と緑の自然学校」事業を第5期に引き続き行なった。今期より、財団主催形式に変更し、開催会場も越路地域(第7期以降は朝日城の森を主会場)に固定して開催した。

①開催に際しては、長岡市教育委員会、越路公民館の後援をいただき、越路小学校・西小学校の学童へチラシ案内を行なう。内容は、子どもたちが樹木に親しむための内容とした。

なお、参加者は総勢18名(内、子どもは11名)であった。

期日	内容	会場	外部協力の講師等	行程
平成18年 5月28日	子ども樹木博士学校	巴ヶ丘自然公園周辺の山地	森林インストラクター等	日帰り

(3)第3期より継続している、新潟大学工学部院生への「渋海川流域」の委託調査研究を第5期も継続。

初年度の当該研究(修士課程:野口寛人氏)は最終報告を完了。財団のホームページにて内容を公開した。

3. 普及啓発事業

会報を年6回定期発行する計画であり、既刊は当初計画通りに発行した。

- ①平成17年11月15日 第19号発行 1,000部
- ②平成18年1月15日 第20号発行 1,000部
- ③平成18年3月15日 第21号発行 1,000部
- ④平成18年5月15日 第22号発行 1,000部

(財) こしじ水と緑の会

- ⑤ 平成 18 年 7 月 15 日 第 23 号発行 1,000 部
- ⑥ 平成 18 年 9 月 15 日 第 24 号発行 1,000 部

4. 会員募集

財団パンフレットの活用として、財団及び朝日酒造株式会社の催しにて約 1,750 部を配布した。
財団ホームページ上においても常時、入会受付を行なう。(月 1～3 名を受付)

(1) 会員数の現状 (平成 18 年 9 月 30 日現在)

- ① 個人会員 636 名 (社員：169 名、社外：467 名)
- ② 法人会員 98 名
- 計 734 名

(参考) 第 5 期末 (平成 17 年 9 月 30 日現在)

- ① 個人会員 634 名
- ② 法人会員 107 名
- 計 741 名

(2) 会費 (平成 17 年 10 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日迄)

・会費 2,142,000 円

5. 収益事業

- ①財団所有の建物の一階部について朝日商事(株)と賃貸契約を継続。
- ②朝日酒造株式会社の迎賓館「松籟閣」の委託管理契約は今期 3 月 31 日付にて終了。

6. 基本財産の充実

健全な運営ができるよう基本財産の更なる充実が必要である。そのため、会員拡大と平行して管理職社員・役員へ継続して寄付金を募り、これを基本財産に繰入れた。

(1) 寄附金等 (平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日迄)

・一般寄附金 8,101,208 円
・その他寄附金 2,435,000 円 【朝日酒造、役員・管理職より 33 件】
寄附金 合計 11,536,208 円

以上